

日本鉄鋼協会記事

第56回秋季講演大会 33年度秋季講演大会は、10月17日から20日までの4日間名古屋市において日本金属学会と連合の下に開催された。

I. 講演会：17, 18, 19の3日間千種区不老町名古屋大学工学部において行われた。まず第1日目の17日午前9時開会ベルが鳴り、初めに里村大会委員長より歓迎の挨拶があり、次いで塩沢会長の開会の辞があつた後、3会場に分れて講演が開始された。3日間を通じ研究発表講演数116（うち欠講2）、聴講者は400名を超え盛会であつた。

II 特別講演会：17日午後3時から、日本金属学会と共催の特別講演会開催、講師は折から来朝中の西独マックス・プランク鉄鋼研究所長フランツ・ヴェーファー教授、講演に先立ち鉄鋼協会塩沢会長より名誉会員推挙状を、金属学会河上副会長より名誉員推薦状をそれぞれ同教授に贈呈、塩沢会長の講師紹介を兼ねた開会の辞があつた後、同教授の「鉄鋼研究の発展過程」と題する約2時間にわたる講演（通訳八幡製鉄森政治氏）があり、満場溢れる許りの聴講者に深い感銘を与えた。講演終つて河上副会長より感謝ならびに閉会の辞が述べられ、午後5時半散会した。

III. 懇親会：12日午後6時半から両会合同懇親会を丸栄ホテルにおいて開催。出席者200名を超える盛況であつた。里村大会委員長の開会の挨拶に始まり、塩沢会長（鉄鋼）、小野副会長（金属）からそれぞれ挨拶があつて、宴に移つたが、その後において、本日の特別講演者ヴェーファー教授を初めとし、桂博士、三島博士、山田博士など両会先輩の方々のテーブルスピーチがあり、終りに両会の万歳を三唱、和気藹々の裡に午後8時半散会した。

IV. 見学会：本会ならびに日本金属学会の会員約500名は10班に分れて、名古屋市内ならびに挙母市、荻谷市、桑名市、四日市市など近接地方における工場、試験所など約25か所を見学した。（詳細は次号工場見学記事参照）

第2回評議員会 日時：10月6日。書面をもつて開催に代えつぎの議決を行つた。

議案第1号 ヘルバート・ゼドラチック氏を名誉会員に推挙の件—原案通り可決

議案第2号 フランツ・ヴェーファー氏を名誉会員に推挙の件—原案通り可決

第7回理事会 日時：10月14日。場所：協会々議室。出席者：塩沢会長ほか16名。

報告事項：I. 第2回評議員会の件。II. 第7回編集委員会の件。III. 秋季大会に関する件。IV. 冶金に関する情報機関参加に関する件。

協議事項：I. ゼドラチック氏に関する件—10月7日急逝につき叙勲申請ならびに弔慰金贈与につき尽力することに決定。II. 第3回原子力シンポジウム共催の件—共催方承認。III. 表面硬化に関する講演会協賛の件—協賛方承認。IV. 大河内記念賞受賞候補者推薦の件—松本理事に候補者選定方依頼のことに決定。V. 編集委員委嘱の件—草川隆次君を追加委嘱のことに決定。VI. 9月中収支決算の件—承認。VII. 9月中入退会その他会員異動の件—承認。

臨時編集委員会 日時：10月18日。場所：名古屋市中区栄町丸栄ホテル。出席者：東海支部—関口、井上、古沢藤原、西原諸氏。本部—塩沢会長、石原副会長、佐藤理事ほか常務委員、編集委員。午後6時開会、会誌の編集、講演会の開催、その他協会の事業運営につき活潑な質疑応答が行われ、また現地側委員より種々有益な意見の開陳があり、懇談を累ねた。午後8時散会。

第8回編集委員会 日時：10月28日。場所：協会々議室。出席者：佐藤理事ほか12名。

報告事項：I. 10月号および11月号刊行の件。II. アブストラクト No.6 刊行予定の件。

協議事項：I. 34年1月号原稿選定の件—選定済み。II. 会誌の交換または寄贈申出の件—同志社工学会、中国科学院図書館と交換、朝鮮国会図書館に寄贈承認。

東北支部 9月15日午前9時から午後3時まで、福島県平市平商工会議所において第4回鉄鋼技術講演会開催、つぎの通り講演を行つた。

(1) 鉄鋼概説—東北大学工学部教授佐藤知雄氏 (2) 鑄鉄の品位と鑄物の欠陥について—東北大金研教授音谷登平氏 (3) 鋼材熔接部の変質、歪および欠陥とその対策—名古屋大学教授関口春次郎氏。

講演後講師を囲んで質疑応答が行われた。